

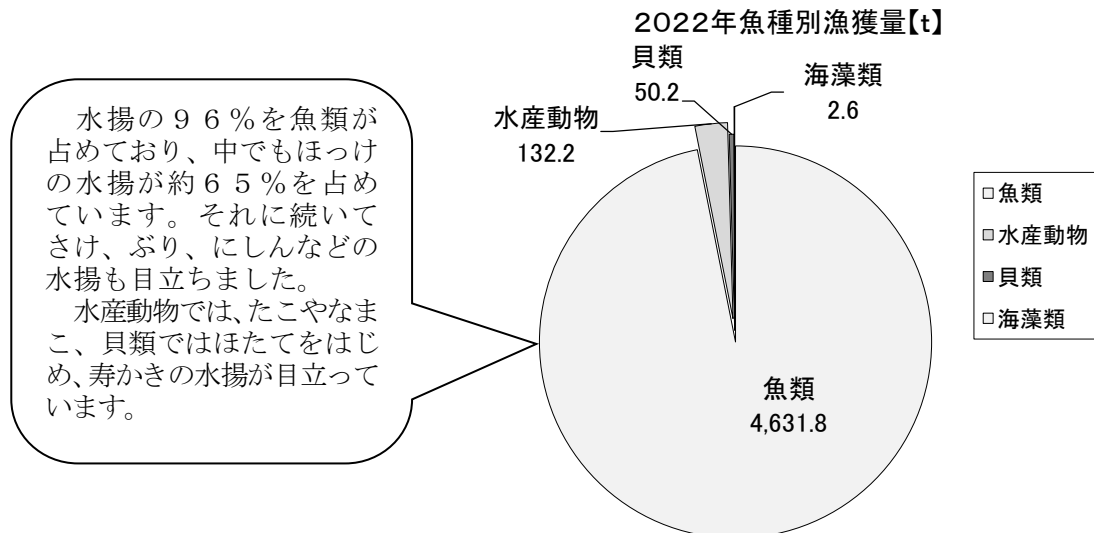
3 産業経済

3-1 漁業

寿都町における漁業の歴史は古く、町史によると1600年代に豊富なニシンを背景に和人が集落を形成し、住み着いたことが町の始まりとされています。以来、寿都町は漁業を中心として発展してきました。200海里問題以降は沿岸漁業へ移行し、比較的穏やかな寿都湾の特性を活かしたつくり育てる漁業を展開し現在に至ります。近年は、海洋環境の変化や資源量の減少により漁獲量は減少傾向にありますが、安定した生産の見込める養殖漁業の拡充や漁獲物の高付加価値化・販路拡大により漁業生産力と漁業所得向上を図っております。

3-1-1 魚種別漁獲量推移【2022年 寿都町漁業協同組合調べ】

■魚種別漁獲量【t/千円】						【2022年1月～12月】					
魚類		水産動物				貝類			海藻類		
区分	漁獲量	金額	区分	漁獲量	金額	区分	漁獲量	金額	区分	漁獲量	金額
ほっけ	2,983.5	89,162	なまこ	52.8	341,600	ほたて	15.5	6,696	採藻(生)	2.5	2,899
さけ	835.0	618,877	たこ	35.8	20,180	かき	1.6	873	その他	0.1	44
ぶり	278.7	36,986	うに	32.8	49,958	つぶ	1.1	458			
にしん	198.0	8,604	いか	2.1	1,414	あわび	0.1	705			
あんこう	59.5	27,561	えび	2.0	2,401						
かれい	34.2	2,789	かに	0.1	27						
たら	19.9	496									
ます	19.4	15,635									
かすべ	17.9	1,910									
いかなご	16.9	18,424									
さば	15.1	342									
そい	14.0	1,522									
ひらめ	13.5	7,342									
めばる	7.3	125									
いわし	4.7	41									
あぶらこ	2.5	293									
かわはぎ	0.8	336									
ふぐ	0.3	25									
まぐろ	0.2	316									
その他	31.0	41,850									
魚類			水産動物			貝類			海藻類		
小計	4,552.4	872,636	小計	125.6	415,580	小計	18.3	8,732	小計	2.6	2,943



3-2 商業【各年商業統計調査、経済センサス（6月1日現在）人・百万円】

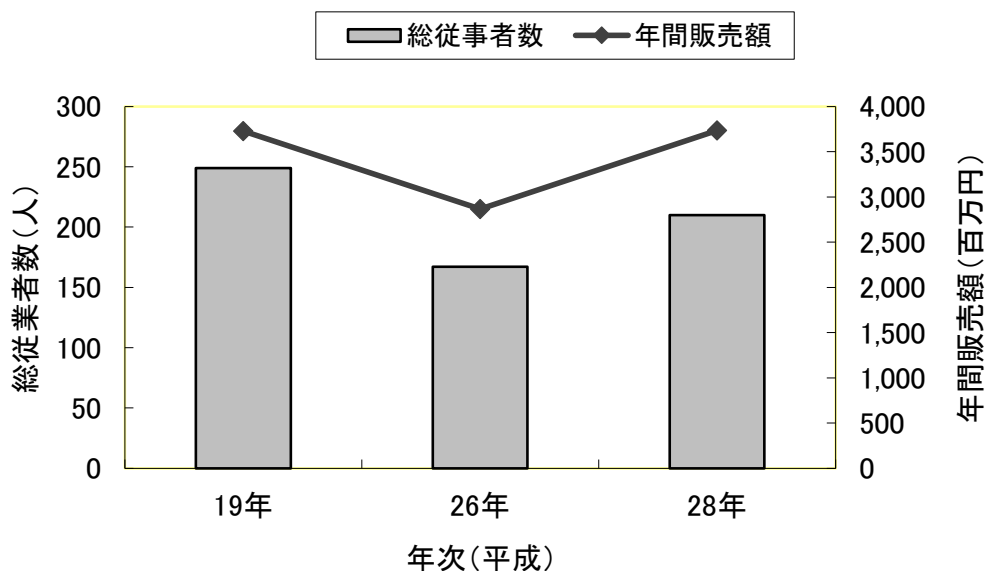
商業活動の実態を明らかにするため、商業（卸売業・小売業）を営む全国の商店を対象に実施していた商業統計調査は経済構造実態調査の創設により平成26年調査をもって廃止されました。平成28年は経済センサスの調査結果になります。

・総従事者数と年間販売額

■商業【各年商業統計調査 単位：人・百万円】

年次(平成)	19年	26年	28年
総従事者数	249	167	210
年間販売額	3,726	2,864	3,733

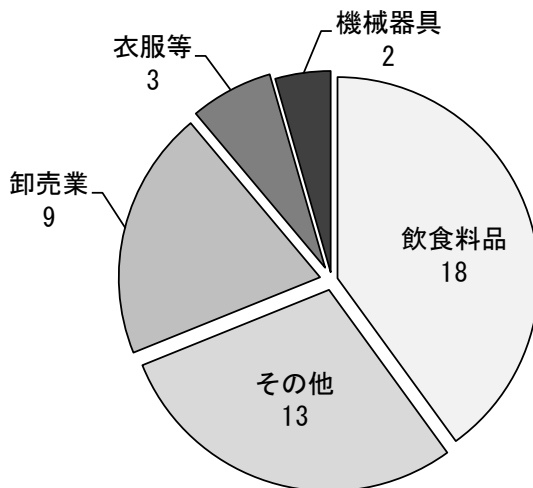
商業統計調査



■分類別事業所数…平成26年総事業所数45

【内訳 卸売業…9 小売業(機械器具・飲食料品・衣服・自動車・その他)…36】

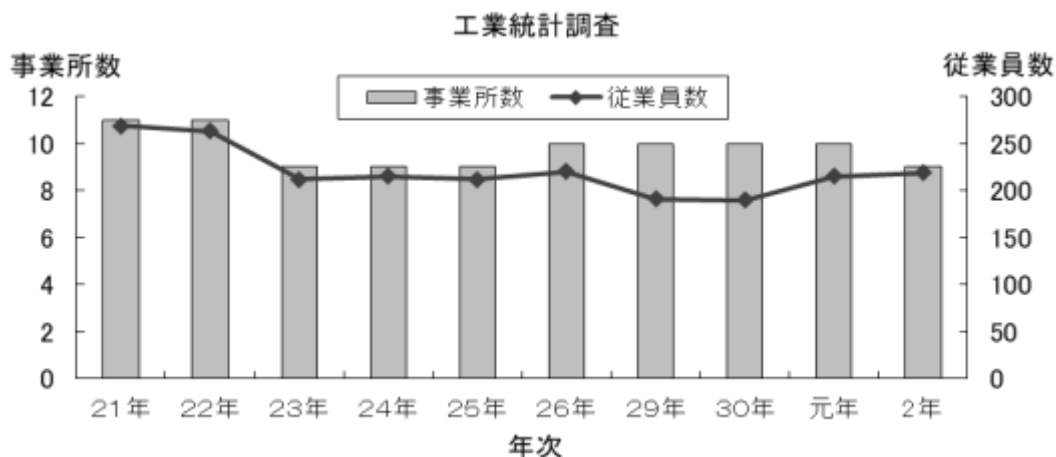
分類別事業所数【平成26年】



3-3 工業【各年工業統計調査（平成21年～平成26年：12月31日現在、
平成29年～令和2年：6月1日現在）人・百万円】

製造業の実態を明らかにするため、全国の製造業を営む事業所（工場）を対象に毎年実施していた工業統計調査は経済構造実態調査へ包摂され、令和2年調査をもって廃止されました。

・製造業事業所数と従業員数



■工業【工業統計調査(人・百万円)】

年次	平成21年	22年	23年	24年	25年
事業所数	11	11	9	9	9
従業員数	269	263	212	215	212
製造品出荷額	3,260	3,047	2,691	2,739	2,768

年次	26年	29年	30年	令和元年	2年
事業所数	10	10	10	10	9
従業員数	220	191	190	215	219
製造品出荷額	3,025	2,744	2,990	3,200	3,573

※平成27年工業統計調査については、平成28年経済センサス活動調査（平成28年6月1日現在）実施のため行われませんでした。

また、工業統計調査は例年12月1日現在で実施されておりましたが、調査日を6月1日に変更したため、平成28年は実施されませんでした。

製造業を営む事業所の約8割が水産加工業者で、寿都湾で水揚げされた新鮮な魚介類をさらにおいしく加工して出荷しているんだ。小女子（いかなご）を生のまま炊き上げた「生炊きしらす佃煮」や「ほっけの飯寿し」などが町を代表する特産品として、全国的にも好評を得ているよ！



3-4 事業所数

【各年事業所・企業統計調査（10月1日現在）経済センサス（6月1日現在）】

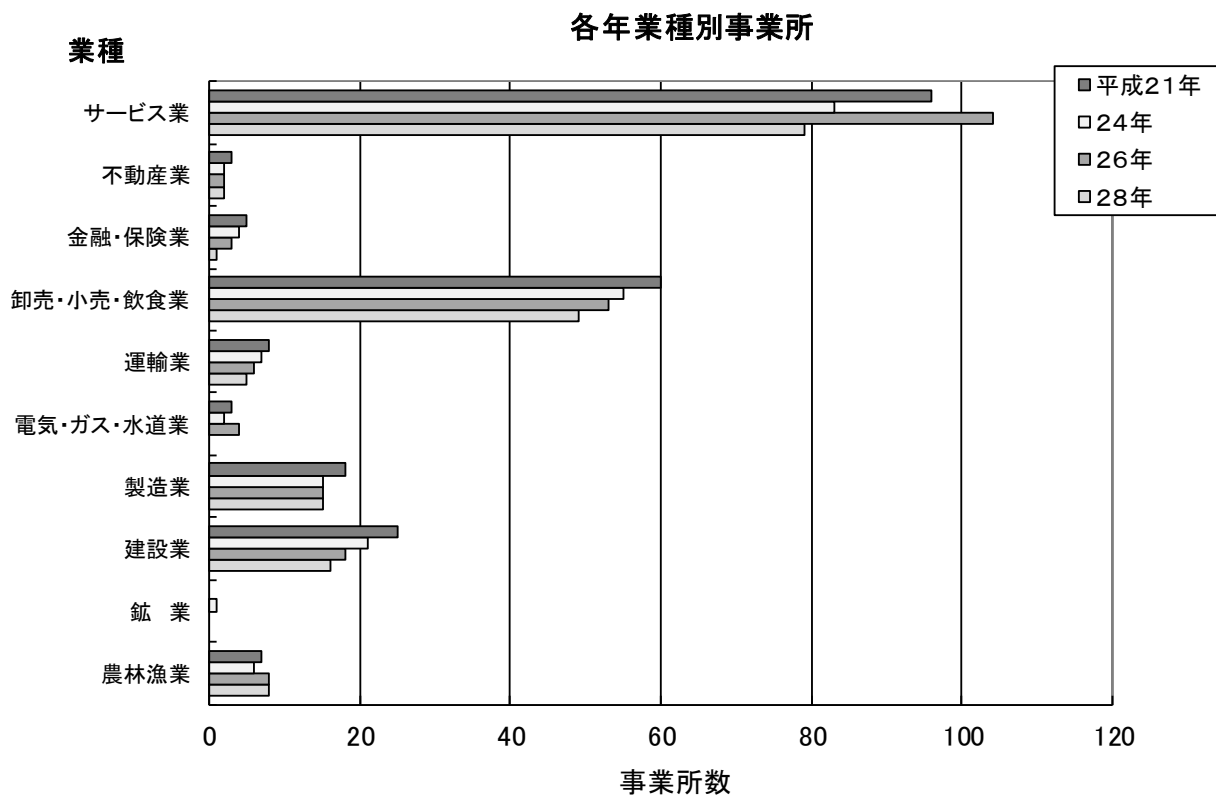
事業所の事業活動及び企業の企業活動の実態を明らかにし、施策を進めるため実施される調査です。事業所及び企業の産業、従業者規模等の基本的な構造を調査したものです。

■産業分類別事業所数

年次\分類	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸業
平成21年	7	-	25	18	3	8
24年	6	1	21	15	2	7
26年	8	-	18	15	4	6
28年	8	-	16	15	-	5

年次\分類	卸売・小売・飲食業	金融・保険業	不動産業	サービス業	総数
平成21年	60	5	3	96	225
24年	55	4	2	83	196
26年	53	3	2	104	213
28年	49	1	2	79	175

平成24・26・28年は経済センサス基礎及び活動調査を出典としています。



3-5 農 業

農業経営体については、各年農林業センサス（農林業の生産構造、農業・林業生産の基礎となる諸条件等を総合的に把握することにより、基本構造の現状と動向を明らかにし、農林業施策等に関する諸統計調査に必要な基礎資料を整備することを目的に5年に1回実施）によって調査した数字になります。品目別収穫量については、JAで取り扱っている寿都産農産物の中で収穫量の多いものを取り上げています。

■農業経営体 【各年農林業センサス 単位:経営体、ha】

年次	農家数					耕地面積		
	総数	販売農家	専業	兼業		総面積	田	畑
				第1種	第2種			
平成17年	75	28	14	2	12	76.5	6.9	69.6
22年	27	14	7	5	13	7.2	0.5	6.7

※平成27年、令和2年は非公表の取扱いとなっている。

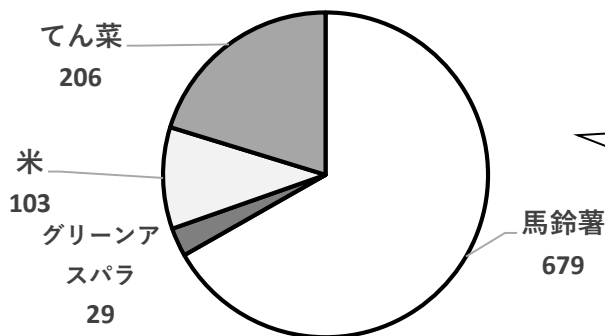
■品目別収穫量（JA取扱分）【各年1月～12月 単位：t・万円（肉牛については頭）】

品目	30年		令和元年		2年	
	収穫量	金額	収穫量	金額	収穫量	金額
馬 鈴 薯	229.6	837	340.1	579	197.0	699
グリーンアスパラ	1.3	113	1.2	81	0.6	62
米	5.4	113	6.6	142	5.2	107
て ん 菜	227.8	247	263.8	219	185.8	158
肉 牛	30	2,172	38	2,899	32	1,987

品目	3年		4年	
	収穫量	金額	収穫量	金額
馬 鈴 薯	212.2	822	235.0	679
グリーンアスパラ	0.2	24	0.3	29
米	5.5	95	5.8	103
て ん 菜	276.1	268	182.9	206
肉 牛	37	2,545	43	3,182



令和4年 品目別金額【万円】



安定して収穫があるのは馬鈴薯とてん菜で、令和4年は417.9tの収穫があります。

漁業とともに寿都町を支える産業として発展することが期待されます。